

平野厚子議員

会派所属なし

単品スライドは、正確な事務手続きが必要

問 ①あおば学園の建て替え工事の単品スライドに関する契約額の変更について、業者は申し出の段階で「購入先を含まない2社以上の見積もり」の提出が必要だったが、鉄鋼の単品スライド申請において要件を見たしていなかった。公契約・公共工事の重要案件で要件を満たさない申請を受領できるのか？
②鉄鋼の他のセメントや

木材は「購入先を含まない2社以上の見積もり」を出していたのか？

答 ①受理すること自体は可能であると考えますが、提出されたものは購入業者のものだけだった。
②セメントや木材について、購入先を含まない2社以上の見積もりは提出されてなかった。



中島綾菜議員

会派名 立憲民主党
草加市議会議員団

聴覚障がい者への支援や理解の拡充を！

問 コミュニケーションのバリアフリーを目指すために、コミュニケーション支援ボードを作成し、民間事業所等で活用できるようにすることや、手話に対する理解促進、周知については？

う。また、市のホームページで絵カードのデータを掲載するなど、積極的に活用していただけるように取り組む。

問 手話通訳者の高齢化が懸念されているが、若手の育成については？

答 若い担い手を含め、新たな手話通訳者の発掘や育成につながるよう、手話通訳の役割や社会貢献の意義、魅力などを積極的に発信していく。

答 障害者差別解消法の一部改正に伴い、合理的配慮が民間事業所においても法的義務となる。市内の民間事業者等に、合理的配慮に係る周知を行



斉藤雄二議員

会派名 市民共同議員団

甚大な被害が生じた台風2号の検証結果

問 市長、副市長に対して厳しい指摘がされている。率直なご意見を伺いたい。

答 高橋副市長：私が一時帰宅したことについて、災害対策本部長である市長を補佐する災害対策本部副本部長としての役割が果たせておらず、市民の皆様には不安な思いをさせてしまったことについて、心からお詫び申し上げたいと思う。

山川市長：私が一時帰宅したことについては、深く反省し、庁内会議においてトップである私が庁舎を離れたことは誤りで、あったことを伝えていたが、今回の検証結果においても指摘を受けた。改めて適正な災害対応と信頼回復に向けて取り組んでいく決意を新たにしました。改めまして市民の皆様には深くお詫びを申し上げます。



田川浩司議員

会派名 SOKA新政議員団

受動喫煙防止に向け、駅前喫煙所再設置を！

問 市民やボランティアで地域の清掃活動をしている団体等から、たばこのポイ捨てが増えた、火がついたまま捨てられている等、市内各駅前等へ喫煙所の再設置を求める声が多く寄せられている。受動喫煙防止と防火の観点から再設置は急務である。市内各駅前にあった喫煙所を今後再設置する予定はあるのか？

い、全ての方が健康に過ごせる環境を実現するにはコンテナ型等、密閉型が望ましいと考えているが、駅前での設置場所確保に苦慮している。

喫煙所の設置は路上喫煙やたばこのポイ捨ての減少が期待できている。場所の選定と周囲の方々の理解も必要であり、技術的留意事項に沿った喫煙所再設置に向けて丁寧に進めていく。

答 改正健康増進法に沿



平山杏香議員

会派名 SOKA新政議員団

そうか公園ドッグラン登録制について要望

問 ①登録条件に2頭以内とある。安全面から入場制限は合理的だが、登録制限は3頭目以降広場に生涯入場できないが、これは意図したものか。
②犬の飼育が増加する中、犬を放せる場所の新たな創出の考えは。

答 ①開設当初、安全面から2頭までに入場制限していた。これを元に、登録・入場を2頭までとした。3頭以上の場合に

生涯入場できない事は意図したものではない。改善すべき課題と認識し、条件の見直しを行う。

②愛犬家向け公園イベントが注目されている。入口広場でも開催され多くの愛犬家に大変好評を博した。他の公園のイベントでも、1日ドッグランの開設について相談を受けており、にぎわいづくりとして積極的に支援していく。



佐藤憲和議員

会派名 市民共同議員団

オンライン教室など不登校支援の強化を！

問 小中学校の不登校538人のうち、ふれあい教室やフリースクールに通う人数は37人のみ。居場所がなく、支援策を網の目のように張り巡らしていくことが重要。①さいたま市の不登校等児童生徒支援センターグロウスのようなタブレットを活用したオンライン授業や、②フリースクールに通うための経済的な支援策の実施、③不登校に関

わる居場所や親の交流の場づくりに取り組む市民団体との連携を。

答 ①ふれあい教室においても家から出ることができない児童生徒に対してのオンラインの活用について検討してまいる。②国や県、他自治体の動向を注視し研究を進めてまいる。③今後さらに保護者同士の意見交換の場作りを行っている団体とも連携を図ってまいる。

